

学校便り

プラハ日本人学校

TEL : 233 340 000

FAX : 224 313 684

Email: gakko@jpschool.cz

No.904 2018/1/5

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

本気で目標を立てる、本気で実現させる

(始業式での校長講話)



新年あけましておめでとうございます。今年は平成 30 年、翌 31 年には天皇陛下が退位されますので、この平成 30 年は 12 か月がフルにある最後の平成の年です。また、2018 年はチェコスロバキア独立 100 周年にあたります。1918 年にオーストリア・ハンガリー帝国が崩壊して、マサリク大統領のもとにチェコスロバキア共和国が建国して 100 年がたった記念すべき年です。チェコスロバキアは、1992 年にチェコとスロバキアに分かれたので、この国は 1918 年から 1992 年まで存在したということになります。

さて、2018 年最初のお話は、「1 年の計は元旦にあり」です。「計」とは計画のことですが、私たちは、計画をたてて生活するときと計画もなく生活しているかのどちらかです。計画もなく生活することは意味がないかというとなんかありません。友だちや家族といっしょに過ごしたり、本を読んだり、音楽にひたったり、自然の中で一体感を感じたりするのに計画はいりませんが、自分が生きていることを実感できる貴重な時間です。私も冬休み中にそんな時間を過ごしましたが、皆さんはどうでしたか。

そして、計画的に生活することも同じように重要なことです。計画的に生きるとは、まず自分自身の目標をたて、その実現にむけて自分で考え、自分のもてる力を発揮していくことです。「1 年の計は元旦にあり」とは、まず目標を立てましょうということです。いつも言っていますが、この目標には大きな目標と小さな目標があります。大きな目標は、将来の夢。そして、小さな目標とは、「毎日必ず机に座って 30 分勉強をやる」といった具体的ですぐにできる目標です。小さな目標を立てることで、毎日の習慣が生まれ、毎日の習慣の中で自信が生まれます。ところで、この目標を実現するために一番大切なことは何だと思いませんか。

それは、その目標をどこまで本気で実現する気なのかだと思います。まさか誰かの目標を自分のものにする人はいないと思いますが、目標を本気で実現させようと考えている人は少ないものです。その証拠に、すぐに立てた目標を忘れちゃいませんか。こういう人は、次のような共通点があります。まず目標を立てると言われたから立てましたという人。そもそも本気で目標を立てていない人です。そういう人は去年の悔しさや残念さを思い出してください。また、心のどこかで「本当はできない」「無理だ」と思っている人もいます。プロサッカー選手の本田圭佑さんが小学校の時にヨーロッパのチームで 10 番の背番号を付けるという夢を書いたのは有名な話ですが、これを書いた人は日本中にいっぱいいると思います。でも、ほとんどの人は心のどこかで「無理」「できない」と思っています。目標を必ず実現するんだ！という強い気持ちがあれば、道は必ず開けるのだと信じます。

さて、3 学期は新しい学年や学校への助走の時です。新たな出発に向けての準備の時だからこそ、目標は大切です。

この 3 学期、皆さんの頑張りを楽しみにしています。

インフルエンザの流行に備えて

3 学期始めのこの時期は、日本人学校ではインフルエンザの流行に注意してください。具合が悪いときは通院や服薬で回復を図るだけでなく、感染予防のためにお休みをとってください。詳しくは VLTAVA900 号 (11 月 24 日) をご覧ください。ホームページ上でもご覧いただけます。

